



サイバーセキュリティの置き薬

2022年
第2号

情報セキュリティ 10大脅威 2022

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）から、2021年に発生した社会的影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける脅威について、個人や組織が優先順位をつけて対策を講じるための「情報セキュリティ 10大脅威 2022」が発表されました。

出典元：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）
<https://www.ipa.go.jp/>

昨年順位	「個人」向け脅威	順位	「組織」向け脅威	昨年順位
2	フィッシングによる個人情報等の搾取	1	ランサムウェアによる脅威	1
3	ネット上の誹謗・中傷・デマ	2	標的型攻撃による機密情報の窃取	2
4	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4
5	クレジットカード情報の不正利用	4	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	3
1	スマホ決済の不正利用	5	内部不正による情報漏えい	6
8	偽警告によるインターネット詐欺	6	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	10
9	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	7	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）	NEW
7	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	8	ビジネスメール詐欺による金銭被害	5
6	インターネットバンキングの不正利用	9	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	7
10	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10	不注意による情報漏えい等の被害	9

組織の1位は、昨年に引き続きランサムウェアによる被害

近年のランサムウェア攻撃は、標的型攻撃と同様の手法で企業・組織のネットワークに侵入したり、データを暗号化するだけでなく、窃取して公開すると脅したりして、身代金を支払わざるを得ない状況を作り出します。ウイルス対策、脆弱性対策などの基本的な対策を、確実かつ多層的に適用することが重要です。

どの組織でも被害に遭う可能性があることを念頭において、バックアップの取得や復旧計画を策定するなど、事前の準備が重要です。

Check!



富山県警察「安全情報ネット」のお知らせ

富山県警察では、特殊詐欺の予兆電話発生等の防犯情報を随時メール発信しています。
右記のQRコードから登録をお願いします。

※ 身近な地域安全情報をタイムリーに配信しています！

